



上内小学校だより

令和6年6月28日

No.5

文責：校長 馬籠 秀典

【学校の教育目標】ふるさとに誇りをもち、心豊かでたくましく、未来を拓く上内っ子の育成

地域の特色を生かした生活科や総合的な学習の時間に取り組んでいます。

5年生の「米作りから学ぼう」、6年生の「ふるさとをいつまでも」の学習が始まりました。

6月4日（火）に、上内農地水環境保全委員会の方を講師にお招きし、5・6年生が稲の種籾植えの体験をしました。5年生にとっては初めての体験なのでわからないこともあったと思いますが、講師の方から土の準備や種籾の植え方、水のまき方など、丁寧に教えていただいたので、子ども達も手際よく作業を進めていました。子ども達は翌日から稲の成長を観察しながら、毎日欠かさず水やりを行っていました。そのため、全く枯れることなく成長しました。



〈種籾植えの様子〉

6月14日（金）には、稲の種籾植えの時と同様に上内農地水環境保全委員会の方々のご指導のもと、5・6年生が田植えを行いました。まずは、泥遊びをして水田を代掻きした後、田植えを行いました。田植えでは、子ども達が張られたロープに沿って一直線に並び、植え付けの仕方を学びました。農地水環境保全委員会の方が一緒に田植えをしながら苗を立てて丁寧に植えることや、1回に植える苗の量、苗を植える深さ等、実際に体験しながら教えていただきました。最初は、時間がかかりましたが次第になれてきて、手際よく植えるようになりました。6年生は昨年度行っているため植え方や手順などよく覚えていました。当日は蒸し暑い中での作業でしたが、子ども達は最後まで集中して田植えを行っていました。最後に代表の児童が上内農地水環境保全委員会の方にお礼の言葉を述べ、今後の稲のお世話をお願いしました。子ども達は空き時間を利用して稲の成長を観察しに行くようにしています。



〈楽しく泥遊びをしました〉



〈田植えの様子〉

毎年の事ですが、これからの雨の多い梅雨の時期や夏の暑い大変な時期に、気温や

天候を見ながら田んぼを管理してもらっています。そのおかげで稲が育ち子ども達も11月ごろの稲刈りの体験ができます。このことを思うと私や担任の先生、子ども達も含め感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年度の学校だよりも記載しましたが、現在の少子化・核家族化の時代においては、子どもの自我の形成や社会性を育てるために、多くの方々と関わりながら体験活動を通して学習を行うことはとても大切です。特に、米作りの活動については、5・6年生では地域の方との米作りの体験活動を通して、地域の自然や環境について関心をもち、地域の方々の努力や工夫、想いを知り、地域のすばらしさを学び、地域への愛着がもてるようにしたいと考えています。特に5年生では、社会科との関連で、社会科で学習する日本の農業（私たちの食生活と食料生産）の現状や問題点を考える上でも有意義な体験活動になると考えています。また6年生では、地域（上内）の魅力を発信し、これからの上内について考えていきます。その際、米作りの体験から学んだり感じたりした魅力はとても貴重だと思っています。これからの子ども達の学びが深まることを期待しています。



〈田植え後の集合写真〉

1・2年生の生活科合同「野菜を育てよう」でさつまいもの苗植えを行いました。

6月12日（水）に地域にお住まいの西山様を講師にお招きし、さつまいもの苗植えを行いました。始まる前には、事前に子ども達が苗を植えつけるため畝を幾筋も作っていただきました。子ども達は、苗の植え方の説明を聞きながら楽しそうに講師の先生と一緒に苗を植えていました。これから苗が大きく成長するために、自分たちで観察しながら管理していきます。これからの成長がとても楽しみです。



〈いも植えの様子〉

子ども達には、野菜や花の栽培をすることで、単に野菜や花の成長を観察し、科学的な理解にとどまるのではなく、植物の成長を願い優しく水やりを行い、その成長を見ながら命があることを実感して欲しいと思います。また、そのような植物との関わりの中から、周りの仲間や友達に対していやなことを言ったりしたりしない等、仲間や友達に優しい気持ちで接することや命を大切にするのできる子どもに成長することを願っています。

お知らせとお願い！

8月24日（土）に上内小学校で、上内校区夏祭りが昨年度と同様に実施されます。夏祭りの実行委員会から、上内小学校の子ども達に合唱とフラダンスの出演依頼がありました。学校でも応募用紙を配布しております。子ども達の夏の思い出にもなりますので、ご都合がつくようでしたらお子様の参加をお願いいたします。